

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年6月12日】第168号



## 交通安全教室

6月5日(月), 1年生を対象とした「交通安全教室」が行われました。世田谷警察署から2名の警察官が来校し、子どもたちに正しい横断歩道の渡り方を指導してくださいました。横断歩道に見立てたシートをグラウンドに広げ、信号機も立てられます。信号機が点灯すると、1年生は信号機に注目。しっかりと、警察官のお話を聞くことができました。その後、子どもたちは横断歩道の少し手前に立ち、左右をよく見てから、手をあげて渡るという練習をしました。横断歩道だからといっても、油断してはいけません。止まってくれた自動車の運転手さんとアイコンタクトして安全を確認するのが大切だと、納得の話もお聞きしました。

通学路の様子は、時間帯や季節によっても変わります。公共交通機関の混雑度や駅の様子も、いつも同じではありません。時には保護者の皆様もお子様と一緒に登校あるいは下校して、危険が潜んでいる場所はどこにあるか、確認していただきますようお願いいたします。

## バスの安全教室

6月5日(月), 3年生, 4年生, 5年生はバスの安全な乗り方について、学習しました。東急バス株式会社瀬田営業所から3人が指導のために来校して下さっただけでなく、本物の乗り合いバスをお隣の東京農業大学第一高等学校・中等部の通路に停車し、体験型の学習が行われました。

ランドセルを背負った子どもたちが、順番にバスに乗車していきます。背負ったままだとたくさんの方が快適に乗車することができません。しかし、ランドセルを前に抱えると、他のお客様にご迷惑をおかけせず、さらに多くの方が乗車することができるのを、実体験しました。また、ドア付近に立っていると、センサーが働いて発車できないことなども、改めて学ぶことができました。

本校では半分以上の児童が東急バスを利用しています。一般の乗客などからマナーの注意が寄せられることが多いですが、運転手さんやバス運行に関わる職員の方のお話を聞くことで、少しでも自分たちの乗り方がどうかということ意識できるように変わっていくことを期待しています。上級生にはぜひ、下級生が安全に、そしてマナーを守ってバスや電車に乗れるよう、お手本を示してほしいと思います。下級生にも早く、正しいマナーを覚え、他の乗客のご迷惑に登下校ができるようになってほしいものです。

## 素晴らしい合奏

6月7日(水), 音楽の先生や担任の先生方, また, 5年生の子どもたちから, ミニ演奏会へのご招待がありました。音楽の時間を利用して練習したジッパ・ディー・ドゥー・ダーの合奏を聞かせてくれるというのです。1組, 2組それぞれ, 3グループに分かれての演奏です。ピアノ, タンバリン, カスタネット, バスマスター, リコーダー, 木琴, 鉄琴などのパートを合わせ, 軽快な音楽が音楽室に広がりました。

緊張しながらも、最後まで演奏することができたといううれしい気持ちで、子どもたちの顔は輝いていました。少し前なら、恥ずかしいから、間違えると嫌だからと引っ込み思案になってしまった子どもがいたのではないのでしょうか。また、少し前なら、間違えてしまった子どもを責めたり、間違えたからといって途中でやめたりしてしまうような子どももいたのではないのでしょうか。しかしこの日、お互いの音を聞きながら、気持ちを合わせ、一つの音楽を作りあげた子どもたちに、大きな成長を感じました。そして子どもたちの成長を表すこの素敵な合奏を、下級生にも聞かせてあげたい、保護者の皆様にもご披露したいと思いました。

## 田んぼの生きもの

5月9日(金)、2年生はバスに乗って横浜市にある「田奈の田んぼ」に出かけました。ご指導は、1年生の田植えもご指導くださった東京農業大学農芸化学科の加藤拓准教授、横田健治教授、そして犬伏和之教授です。大学院生も8人が、サポートに来てくれました。あいにくの雨でしたが、レインハットやレインコートに身を包んだ子どもたちは、5月に1年生が田植えした稲の様子を見ながら、田んぼの周りを一周しました。また、ほかの子どもたちは、田んぼの土の構造を教えていただく班、稲の分けつの様子を教えていただく班、そして、田んぼの生き物を見る班に分かれて学びました。

田んぼの土が単なる泥んこではないこと、そして、1粒の種もみが発芽してたくさんの茎に分かれて育っていることなどを興味深く学んだ子どもたちです。また、大学院生が捕獲しておいてくれたニホンアマガエル、オタマジャクシ、ホウネンエビやヒルの仲間などの観察も行いました。

2年生らしく、ほとんどの子どもたちはしっかりと先生のお話が聞けたようです。どんな時でも、お話をしっかり聞ける子どもが伸びていきます。体験の中から興味をもったことについて、質問をしたり、自分で調べてみたりする子どもにも期待したいと思っています。

## 草細工

たくさんの社会人が学ぶ東京農業大学グリーンアカデミーで授業を担当したご縁で、グリーンアカデミーのお一人の生徒さんから、農大稲花小の子どもたちへと、シュロの葉でつくった素敵なバツタをプレゼントしていただきました。触覚、腹、足など細かくよく作られていて、本物と間違ってしまった子どももいたくらいです。こんなに素敵な草細工、もし作れるようになったらどんなに楽しいでしょうか。



東京農業大学稲花小学校  
校長 夏秋 啓子